

# データセンター統合・移転サービス

データセンターの統合や移転、またオフィス移転を、コンサルティングサービスから運用まで、IBMが一貫したサービスをご提供します

IBM グローバル・テクノロジー・サービス [ibm.biz/JapanGTS](http://ibm.biz/JapanGTS)

## 概要

ITの運用基盤であるデータセンターの構築および移転は、高信頼性、災害対策強化などの機能を有するだけでなく、将来に向けたビジネス継続性、拡張性、復旧性などの観点で構築することが必要になります。さらに近年ではグリーンIT対応の中核をなす要素としてもその対応策が重要視されています。

IBMでは、自社のデータセンター運用をリファレンスに数多くのお客様に対してデータセンターのコンサルティングサービスから、設計・施工、移転、運用支援といった一貫したサービスをご提供しています。

## データセンター統合・移転の必要性の背景と課題

### ● データセンター、マシナールーム統合・移転の必要性の背景

- IT運用コスト削減を狙った、マシナールーム/データセンター集約
- ビジネス継続性改善のための地震、火災、水害対策
- 建物設備の老朽化対策、電源設備、空調能力、スペースなどの不足
- オフィスビル移転に伴うマシナールーム移転等

### ● 移転プロジェクト推進上の課題

- 予想以上にコストがかかる
  - 説明会、アンケート、Q/A、時間調整など、コミュニケーションに工数を要する
  - 機器移動による機器障害対策、保守契約書更新、バックアップなど機器故障に対するリスク対策を万全にとる必要がある
  - 移転、新設機器の設置準備（レイアウト・電源・ネットワーク）など一度に多くの作業が必要
  - 移転時の影響範囲、変更対象を明確にする為の調査と対策が必要
  - 保守の効かない古い機器は、原則、動かさない（修理ができない）
  - 停止できないアプリケーションは、ネットワークでデータ同期しながら切替が必要
  - 計画から実施まで、一般に半年以上の準備期間が必要
  - 検討分野が多岐にわたり、コストを一度に見積もりきれない
- 障害発生、情報漏えいなどのリスクが極めて高い。（一度に多数を変更する為）
- 経験者が少ない。（頻繁に発生することではない為、PMが務まる人材がいらない）
- 待ち受け機器やネットワークなど全体のインフラ設計できる人材が必要。

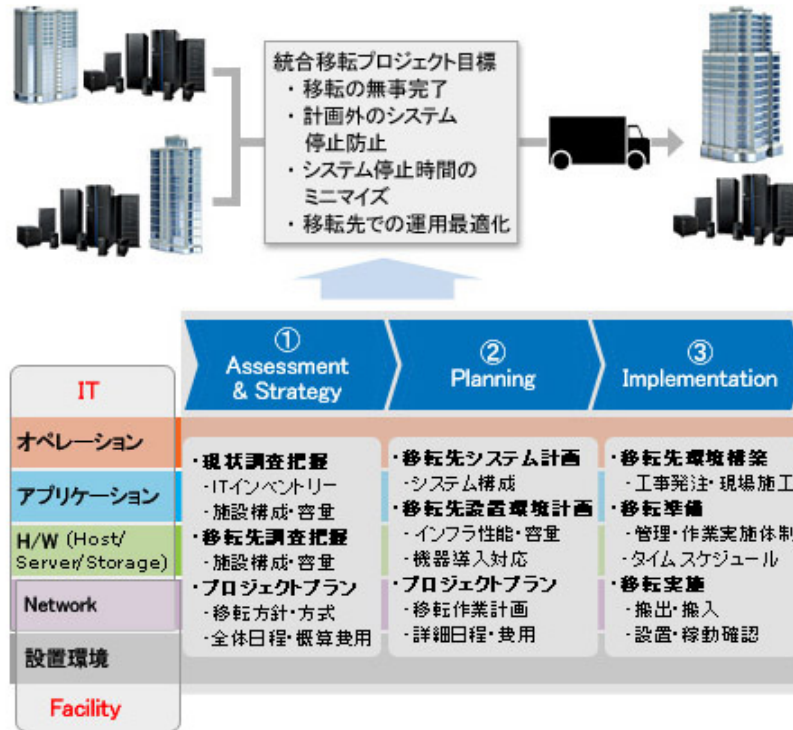
IBM DC Consolidation & Relocation Services  
(データセンター統合・移転サービス)によるご支援

当サービスに関するお問い合わせはこちらへ → [ibm.biz/GTS\\_contact](http://ibm.biz/GTS_contact)

## サービスの特長

### ● プロジェクトの目標と達成に向けたご支援ステップ

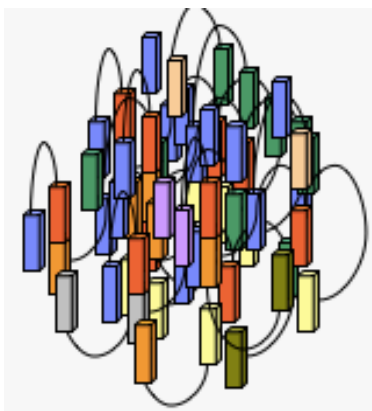
データセンター統合・移転における成功の鍵は事前の計画・準備に大きく依存します。データセンター統合・移転サービスでは複雑なデータセンター統合・移転プロジェクトを「Assessment & Strategy」「Planning」「Implementation」の3ステップに渡り、ITとFacilityの観点で統合的に支援します。ファシリティーに関する5つの評価軸観点で、クイックにアセスメントし、現状把握、課題点抽出および解決策の検討を行います。



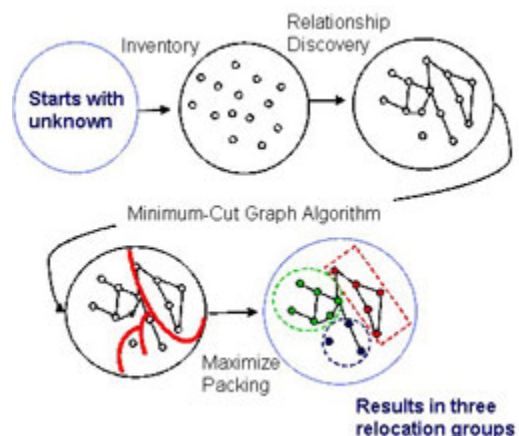
### ● ALDMツールの活用

- ・ IBMのワトソン基礎研究所が開発した数学的モデリングを適用し、複数のアプリケーションやサーバーの依存関係を調査し図示するツール「ALDM (Analytics Logical Dependency Mapping)」を活用します。
- ・ ALDMを活用することにより、手作業で機器情報や依存関係を調査する場合に比べ、半分程度の時間でサーバー、ストレージ、アプリケーションなどの資産情報や依存関係を調査できると共に、人的ミスによる調査漏れも防げます。

論理依存マップ  
(27サーバーの例)



依存性グループマッピング



## お客様のメリット

- 全世界のお客様およびIBM社内での導入実績に基づくサービスを受けることができる
- お客様の経営戦略/事業戦略にあわせたセンター施設の構築ができる
- リスクマネジメントに沿った安全性能が確保できる
- ITの将来動向を見据えたデータセンターの構築・移転ができる

## IBMをお勧めする理由

データセンター統合・移転においては下記の2点が成功に導くキーポイントとなります。

1. 確実にプロジェクトを実施できるノウハウ、管理ツール
2. 多岐に渡る管理対象への対応リソースと全体を統括するプロジェクトマネジメント

IBMでは数々の実績と蓄積したノウハウおよび幅広いリソースを元にプロジェクトを成功裡に支援します。

当サービスに関するお問い合わせはこちらへ → [ibm.biz/GTS\\_contact](https://ibm.biz/GTS_contact)

### 日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

© Copyright IBM Japan, Ltd. 2018 All Rights Reserved

本資料の情報は2018年1月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。本資料中に記載の肩書や数値、固有名詞等は初掲載当時のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。また、記載の事例は特定のお客様に関するものであり、すべての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境その他の要因によって異なります。製品、サービスなどの詳細については、弊社の営業担当員にご相談ください。IBM、IBMロゴ、ibm.comは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBM商標リストについては [www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。